

研究番号 1913号 承認日 2024年3月6日

研究実施予定期間 実施承認後～2024年12月31日

情報公開文書

| | | |
|---|--|---|
| 1. 研究課題名 | クローン病の治療中に下腿コンパートメント症候群に至った一例 A case of leg compartment syndrome in a patient with Crohn's disease | |
| 2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載) | クローン病の腸管外合併症の一つに血栓塞栓症がある。クローン病の悪化により腸閉塞となった患者の治療中に、膝窩動脈血栓症を併発し下腿コンパートメント症候群に至った症例を経験したので報告する。 | |
| 3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 北 貴志・大阪警察病院・麻酔科・部長 | |
| 4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 西村 暢征・大阪警察病院・麻酔科・副部長 | |
| 5. 研究の分類 | <侵襲性について> <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究 | <共同研究の有無について> <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | <介入について> <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究) | <インフォームド・コンセント (アセント) について> <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト |
| | <試料・情報の利用について> <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合) | <モニタリングと監査について> <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| | <対応表の作成の有無について> <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし | |
| 6. 研究の対象及び 実施予定期間 | ・実施承認後 ～ 西暦 2024 年 12 月 31 日 | |
| 7. 連絡先 | 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>麻酔科</u> 担当者: (氏名) <u>西村 暢征</u> (職名) <u>副部長</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 | |

研究番号 1624号 承認日 2022年10月7日

研究実施予定期間 2018年1月1日～2026年12月31日

情報公開文書

| | | |
|---|---|--|
| 1. 研究課題名 | 術前に深部静脈血栓症を有する症例の下大静脈フィルター使用状況 | |
| 2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載) | 静脈血栓塞栓症(VTE)の診療状況は2016年のアメリカ胸部医学会(ACCP)、2017年の日本循環器病学会のガイドラインの改定により大きく変化しているが周術期、特に術前に診断されたVTEの診療に対する指標は世界的にも存在していない。従来深部静脈血栓症(DVT)患者の肺血栓塞栓症(PTE)予防に下大静脈フィルター(IVCF)の留置が行われてきたが致死性PTEは減少させるものの長期には生命予後に影響せず、フィルターの閉塞、変位、他臓器への穿通等の合併症も報告されている。そのため最新の日本循環器病学会のガイドラインでは必要性がなくなりしだい早期に抜去することが推奨されている。そして抜去時のフィルター破断の報告例もあるためより厳格な適応が求められている。また外来でも速やかに導入できる新規経口抗凝固薬(DOAC)の登場もIVCFの使用状況に影響を与えている可能性がある。本研究は術前にDVTを有しIVCF留置症例の患者背景因子、血栓の部位、性状、術前抗凝固療法の使用状況、術後の血栓イベント、IVCF抜去状況等を検討し、また非留置症例とも比較することによりその適応と問題点を明らかにすることを目的としている。 | |
| 3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 上田篤史・麻酔科・医長・大阪警察病院 | |
| 4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 上田篤史・麻酔科・医長・大阪警察病院 | |
| 5. 研究の分類 | 〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究 | 〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他() |
| | 〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究) | 〈インフォームド・コンセント(アセント)について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト |
| | 〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年(提供先の場合) | 〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| | 〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり(具体的な管理方法について:) <input type="checkbox"/> なし | |
| 6. 研究の対象及び 実施予定期間 | ・西暦2018年1月1日～西暦2026年12月31日 | |
| 7. 連絡先 | 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: 麻酔科 担当者: (氏名) 上田 篤史 (職名) 医長 | |

連絡先：06-6771-6051

※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究番号 1456号 承認日 2021年11月15日

研究実施予定期間 承認日～2026年12月31日

情報公開文書

| | | |
|---|--|--|
| 1. 研究課題名 | 深部静脈血栓症を有する手術症例に対する周術期の観血的空気圧迫装置、弾性ストッキングの着用状況の検討 | |
| 2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載) | 静脈血栓塞栓症(VTE)の診療状況は2016年のアメリカ胸部医学会(ACCP)、2017年の日本循環器病学会のガイドラインの改定により大きく変化しているが周術期、特に術前に診断されたVTEの診療に対する指標は世界的にも存在していない。元来深部静脈血栓症(DVT)を有する患者に観血的空気圧迫装置(IPC)の着用は推奨されていないがその科学的根拠は乏しく、また各学会のガイドラインが改訂される中、3ヶ月以上経過した器質化血栓や歩行している無症候性の下腿の血栓などを一律に着用禁忌とすることには矛盾が生じている。頭蓋内出血や多発外傷、脊椎手術など原疾患によって抗凝固薬の投与が難しい症例もありIPC等の予防装置や理学療法の積極的導入が期待されるがその指標は存在しない。本研究では手術前の画像検査にて深部静脈血栓症を指摘された患者における周術期の観血的空気圧迫装置や弾性ストッキング(GCS)の着用状況、DVTの転帰を電子カルテの記載より後方視的に検討することにより今後のエビデンスの構築に寄与したい。 | |
| 3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 北 貴志・麻酔科・部長・大阪警察病院 | |
| 4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 上田篤史・麻酔科・医長・大阪警察病院 | |
| 5. 研究の分類 | 〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究 | 〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他() |
| | 〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究(観察研究) | 〈インフォームド・コンセント(アセント)について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト |
| | 〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規(取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存(取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存(残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年(提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年(提供先の場合) | 〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| | 〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり(具体的な管理方法について:) <input type="checkbox"/> なし | |
| 6. 研究の対象及び 実施予定期間 | ・西暦2018年1月1日～西暦2026年12月31日 | |
| 9. 連絡先 | 大阪警察病院 麻酔科 上田篤史 | |

研究番号 1335号 承認日 2021年3月1日
 研究実施予定期間 承認日～2026年12月31日

情報公開文書

| | | |
|---|--|---|
| 1. 研究課題名 | 日本麻酔科学会 麻酔関連偶発症調査 2020 | |
| 2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載) | 日本麻酔科学会では、麻酔に関する安全の確保と質の向上を目的に手術等で麻酔管理を受けられた患者さんを対象として麻酔前後の状態や麻酔に対する反応等の情報を収集して解析を行っています。これまでの事業から、麻酔の安全を示す指標を麻酔科専門医等と共有し、また、診療ガイドラインの策定への資料提供を行うなど医療の安全と質の向上に寄与してきました。麻酔に関して発生する事象の中には非常にまれなものもあるため全国規模での調査が必要になっています。日本麻酔科学会では、麻酔科専門医・指導医が所属する日本麻酔科学会麻酔科認定病院を対象に、麻酔管理を実施した患者さんのデータを麻酔記録から収集し、データを解析する研究を実施することといたしました。 | |
| 3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 小坂橋 俊哉・日本麻酔科学会理事長・東京歯科大学市川総合病院麻酔科 廣田 和美・日本麻酔科学会 偶発症例部会長・弘前大学医学部付属病院 | |
| 4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 北 貴志・麻酔科・部長・大阪警察病院 | |
| 5. 研究の分類 | 〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究 | 〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | 〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究) | 〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト |
| | 〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合) | 〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| | 〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし | |
| 6. 研究の対象及び 実施予定期間 | ・実施承認後 ～ 西暦 2026年12月31日 | |
| 7. 問い合わせ先 | この研究についてのご質問だけではなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 | |

【紹介先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

公益社団法人 日本麻酔科学会

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番2号

神戸キメックセンタービル3階

TEL : 078-306-5945

FAX : 078-306-5946

E-mail : anzen@anesth.or.jp

受付時間 : 10 : 00-17 : 00 (土日祝日日はのぞく)

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

大阪警察病院

大阪市天王寺区北山町 10-31

診療科 : 麻酔科

担当者 : (氏名) 上田 篤史 (職名) 医長

連絡先 : 06-6771-6051

研究番号 1334号 承認日 2021年3月1日
研究実施予定期間 承認日～2026年12月31日

情報公開文書

| | | |
|---|---|---|
| 1. 研究課題名 | 公益社団法人日本麻酔科学会会員施設を対象とした周術期肺塞栓症例データ登録を用いた疫学研究 | |
| 2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載) | 日本麻酔科学会では、麻酔に関する安全の確保と質の向上を目的に手術等で麻酔管理を受けられた患者さんを対象として、肺血栓塞栓症およびその原因となる深部静脈血栓症に関する情報を収集して解析を行っています。これまでの事業から、麻酔の安全を示す指標を麻酔科専門医等と共有し、また、診療ガイドラインの策定への資料提供を行うなど医療の安全と質の向上に寄与してきました。このたび、2020年1月1日から2024年12月31日までの期間に日本麻酔科学会麻酔科認定病院にて麻酔管理を受けられた患者さんを対象として、周術期に発生する肺血栓塞栓症やその原因となる深部静脈血栓症の発生についての経年変化や、リスク因子を調査することに致しました。 | |
| 3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 小坂橋 俊哉・日本麻酔科学会 理事長・東京歯科大学市川総合病院 麻酔科 | |
| 4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 北 貴志・麻酔科・部長・大阪警察病院 | |
| 5. 研究の分類 | 〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究 | 〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | 〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究) | 〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト |
| | 〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合) | 〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input type="checkbox"/> 不要 |
| | 〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし | |
| 6. 研究の対象及び 実施予定期間 | ・実施承認後 ～ 西暦 2026年12月31日 | |
| 7. 問い合わせ先 | この研究についてのご質問だけではなく、ご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合や、ご自身のデータの使用を望まれない場合など、この研究に関する場合は、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 公益社団法人 日本麻酔科学会 〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町1丁目5番2号 | |

神戸キメックセンタービル 3 階
TEL : 078-306-5945
FAX : 078-306-5946
E-mail : anzen@anesth.or.jp
受付時間 : 10 : 00-17 : 00 (土日祝日日はのぞく)

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

大阪警察病院
大阪市天王寺区北山町 10-31
診療科 : 麻酔科
担当者 : (氏名) 上田 篤史 (職名) 医長
連絡先 : 06-6771-6051

研究番号 964号 承認日 2019年1月10日

研究実施予定期間 承認日 ~

情報公開文書

| | | |
|---|---|---|
| 1. 研究課題名 | 周術期患者リスク評価のための患者評価ツール運用 | |
| 2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載) | 近年、手術を受ける患者自身のリスクが高くなってきており、呼吸器・循環器疾患のみならず、不動化によるサルコペニア・フレイルの患者も増えてきている。ハイリスク患者においては術後に誤嚥などの合併症を併発することも多く入院期間延長に直結している。これまでは、外来看護師・主治医がハイリスクと思われる患者のみ周術期管理依頼を行ってきたが客観的な評価はなされていなかった。そこで今後は客観的な患者評価スケールとして WHODAS2.0, TRP を用いてリスクの評価を行い日常業務のサポートに役立てると同時に、周術期の介入が患者転帰にどのような影響を与えたのか評価し今後の診療に役立てたいと考えている。 | |
| 3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院 | |
| 4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院 | |
| 5. 研究の分類 | 〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究 | 〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | 〈介入について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究) | 〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト |
| | 〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合) | 〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| | 〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし | |
| 9. 連絡先 | 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: 麻酔科 担当者: (氏名) 北 貴志 (職名) 部長 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 | |

研究番号 961号 承認日 2019年1月10日

研究実施予定期間 承認日 ~

情報公開文書

| | | |
|---|--|---|
| 1. 研究課題名 | 当院における術後肺血栓塞栓症例の検討 | |
| 2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載) | 術後肺血栓塞栓症の発症率は2016年の日本麻酔科学会の全国調査では発生率1万に当たり2.85人と年々減少をしているものの致死率は9.6%と依然高く手術医療にとっては重要な課題である。より効率的な予防法、早期発見、救命率向上のため、2007年から2018年の12年間に当院で発生した術後肺血栓塞栓症例の患者背景、診断過程、治療経過をカルテ記載や手術台帳より後方視的に検討する。 | |
| 3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 北貴志・麻酔科・部長・大阪警察病院 | |
| 4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 上田篤史・麻酔科・医長・大阪警察病院 | |
| 5. 研究の分類 | 〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究 | 〈共同研究の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | 〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究) | 〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト |
| | 〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input checked="" type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合) | 〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| | 〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input type="checkbox"/> なし | |
| 9. 連絡先 | 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町10-31 診療科: 麻酔科 担当者: (氏名) <u>上田 篤史</u> (職名) <u>医長</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 | |

研究番号 846号 承認日 2018年3月14日

研究実施予定期間 承認日 ~

情報公開文書

| | | |
|---|--|---|
| 1. 研究課題名 | 手術室スタッフの時間外労働削減への挑戦 | |
| 2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載) | 政府が推し進めようとしている働き方改革は医療分野においても例外ではない。当院は緊急手術も多く、予定手術も長時間に及ぶことが多くスタッフの疲労も蓄積している。今回は周術期支援システムから周術期にかかわる時間を抽出して改善点を探ることとした。 | |
| 3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院 | |
| 4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 北 貴志 麻酔科 部長 大阪警察病院 | |
| 5. 研究の分類 | 〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究 | 〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | 〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究) | 〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト |
| | 〈試料・情報の利用について〉 <input type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input checked="" type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合) | 〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| | 〈対応表の作成の有無について〉 <input type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法について:) <input checked="" type="checkbox"/> なし | |
| 6. 連絡先 | 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>麻酔科</u> 担当者: <u>(氏名) 北 貴志</u> (<u>職名</u>) 部長 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 | |

研究番号 812号 承認日 2018年1月16日

研究実施予定期間 承認日 ~

情報公開文書

| | | |
|---|--|---|
| 1. 研究課題名 | 下肢末梢型DVTを有する大腿骨近位部骨折患者の保存療法の検討。 | |
| 2. 研究の目的及び 実施計画の概要 (研究に薬品や機器がある 場合には品名と一般名も記 載) | 過去当院で施行された下肢末梢型 DVT を有し術前に保存療法のみ の大腿骨近位部骨折症例(2007.1.1 から 2017.12.31 まで)の術後経過より DVT、増悪の危険因子、進展様式等を検討することにより同患者の周 術期管理の安全性の向上とサーバランスの効率化を図ることを目的と する。 | |
| 3. 研究責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 上田篤史、麻酔科、医長 | |
| 4. 研究実施責任者 氏名・所属・職・所属機関 | 上田篤史、麻酔科、医長 | |
| 5. 研究の分類 | 〈侵襲性について〉 <input type="checkbox"/> 侵襲を伴う研究 <input type="checkbox"/> 軽微な侵襲を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 侵襲を伴わない研究 | 〈共同研究の有無について〉 <input type="checkbox"/> 多施設共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> 当院のみの研究 <input type="checkbox"/> その他 () |
| | 〈介入について〉 <input type="checkbox"/> 介入を伴う研究 <input checked="" type="checkbox"/> 介入を伴わない研究 (観察研究) | 〈インフォームド・コンセント (アセント) について〉 <input type="checkbox"/> 必要 <input checked="" type="checkbox"/> オプトアウト |
| | 〈試料・情報の利用について〉 <input checked="" type="checkbox"/> 新規 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (取得試料・情報の利用) <input type="checkbox"/> 既存 (残余検体の利用) 【保存年数】 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 (提供元の場合) <input type="checkbox"/> 5年 (提供先の場合) | 〈モニタリングと監査について〉 <input type="checkbox"/> 必要 ・モニタリング実施者 () ・監査実施者 () <input checked="" type="checkbox"/> 不要 |
| | 〈対応表の作成の有無について〉 <input checked="" type="checkbox"/> あり (具体的な管理方法:) <input type="checkbox"/> なし | |
| 6. 問合せ先 | 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】 大阪警察病院 大阪市天王寺区北山町 10-31 診療科: <u>麻酔科</u> 担当者: <u>(氏名) 上田篤史</u> <u>(職名) 医長</u> 連絡先: 06-6771-6051 ※本研究に関するご質問等がありましたら上記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者 もしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象と せんのでお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることは ません。 | |